

第5回 PJ80セミナー東京

ドイツのエネルギーシフト ～再エネ推進の第二段階とは～

ドイツは国・政府として 再生可能エネルギーでの100%電力供給を目指しています

年々上昇を続けている再エネによる電力供給割合は 今や既に3割以上

その主力は 変動型・再エネと呼ばれる風力と太陽光

変動型再エネ割合をさらに上昇させ続けるために どのような「考え方」で需給対応する計画なのでしょう？

ドイツのエネルギー政策の最新事情のレクチャーの後 みなさんと日本のエネルギー産業の未来を考えます

再エネ普及や再エネ事業に関心のある方 ぜひお集まりください！

■プログラム■

講演1 (村上敦) : 「ドイツ 100%再生可能エネルギーのシナリオと電力の需給調整」
(ドイツ再生可能エネルギー機関作成の各種の研究、シナリオのメタ分析結果)

講演2 (南原順) : 「海外での再エネ開発の経験と日本と世界のローカルをつなぐ仕事」

講演3 (小嶋祐輔) : 「日本のPPS市場の動向について」

パネルディスカッション&質疑応答

■概要■

2016年**10月19日**(水) 14:00～17:00 (開場13時半)

場 所 : クラブヴォーバン新橋サロン (東京都港区新橋2-5-6 大村ビル8階)

参加費 : 3千円 クラブヴォーバン会員は無料 (法人会員は2名まで無料) ※基本的に事前に振込み要

懇親会 : 2千円 ※希望者のみ 会場にてケータリング。注文の都合上、セミナー申し込み時に参加の意思をお伝えください。

■講師■

村上 敦

(一社) クラブヴォーバン代表/ドイツ・フライブルク在住ジャーナリスト・環境コンサルタント。ゼネコン技術者を経て 97 年に渡独後、持続可能なまちづくり・交通・エネル

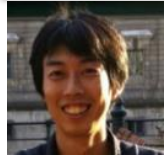
ギーをテーマとして、ドイツや欧州の先進事例を日本に発信。著作「フライブルクのまちづくり」「欧州のエネルギー自立地域」「ドイツの市民エネルギー企業」「キロワットアワー・イズ・マネー」



南原 順

1981年島根県浜田市生まれ京都大学大学院地球環境学舎(修士)修了。長野県飯田市のおひさま進歩エネルギーにて、市民ファンドを活用した太陽光や省エネなどエネルギー事業に従事した後、

国際航業ホールディングスではドイツや欧州のメガソーラー開発に従事。日本でも自然エネルギー事業の企画・開発を行う。その後、南米欧州などに滞在したのち帰国したばかり。



小嶋 祐輔

2008年に東京大学大学院工学系研究科(修士)終了後、ソニー(株)にて液晶テレビの設計、アクセンチュア(株)にて経営コンサルタント



を経て、現在 日本アルファ電力株式会社取締役、株式会社Loop 事業本部企画開発部部長。

■問い合わせ・連絡先■

一般社団法人 クラブヴォーバン 事務局 福島

TEL : 03-6205-4493 Email : mail@club-vauban.net



クラブヴォーバンは、世界に先駆けて持続可能なまちづくりを行っているドイツの“ヴォーバン住宅地”を模範として、日本国内で「持続可能な低炭素型のまちづくり」をめざす、経営者や地方自治体・研究者・学生などあらゆる立場の人たちが学び集うためのネットワーク(場)です。